



校訓
「自主・敬愛・責任」

阿戸中だより

平成23年
11月号
広島市立
阿戸中学校

暦の上では早くも冬です。これから寒さに身体を震わせる日々になることでしょう。しかし、学校でも、ご家庭でも、阿戸町でも温くなるあいさつをかわし、交流をして、心を温かくしましょう。早速今週は、3年生が福祉センターで地域の方々との交流会があります。来月は2年生がしめ飾りづくりでお世話になります。よろしくお願いたします。

芸術の秋を満喫しました！



☆「カルメン」観劇☆

9/30の「カルメン」の観劇は最高でした。39人もの大勢の劇団が東京からやってきて、学校の体育館とは思えないセットと迫力で演じてくれました。オペラですから、指揮者のいる生演奏で、マイクを通さない地声です。しかも阿戸中生徒がプロに混じって11人も出演したのです。すっかりとけ込んで、生徒とは思えない堂々とした演技でした。出演者にとっては貴重な体験でした。将来この中から演劇にはまる人が出てくるかもしれませんね。

「興奮したカルメン」 3年 竹内 和幸

僕はカルメンを観て、驚いたことや印象に残った事など、様々な事を思いました。まず驚いた事は、体育館をいっぱいに使っていたことです。カルメンの前日に準備があり、体育館のステージ裏にあるものを全部後ろによける作業をしました。僕はこの作業にとっても驚いたのと同時にカルメンへの期待も一気に上がりました。そして本番では、見るもの全てを圧倒させる演技力と迫力で、興奮させられました。最後にカルメンが死んでしまうのにもとても驚きました。もう観る機会は無いかもしれないけど、この日の事を一生心の中に刻んでおきたいと思いました。



前列が、出演した生徒たちです。



文化祭 合唱コンクール

10/30の合同文化祭には多くの保護者・地域の方々が見に来て下さりありがとうございました。幼稚園の発表をスタートに、小中学生の発表が続くので、阿戸の子どもたちの成長が一目で分かれると、好評でした。中学校では今年、久しぶりに学年別の合唱になり、クラスの団結がはかれる取り組みになりました。

パートリーダーを中心に主体的に練習することをねらいとして取り組みましたが、どの学年も練習初日から生き生きと大きな声が聞こえてきて、びっくりしました。子どもたちを成長させてくれた合唱の取り組みだったと思います。

最優秀の3年生は、11/5にアステールプラザ（広島市中学校連合音楽祭）で、堂々発表しました。



「みんなの心が一つに」 2年 南 翔樹くん

今日が本番です。練習の成果を地域の方や先生、小学生に見せる時です。リハーサルの時はなぜか緊張してあまり声が出せませんでした。本番では先生方からもらったアドバイス通りちゃんと歌うことができました。ステージに上がって、二列に並ぶ時はリハーサルよりも緊張せずに持っている力を全て出して歌うと心に決めて階段を上りました。歌い終わったら今までの練習を思い出しました。

練習の時の事を振り返ってみると、最初のパート練習ではリズムを全然とることができず、パートリーダーに迷惑をかけてしまったと思います。先生からもらったパートのCDを家で一生懸命聴きました。それから、数日後の練習ではけんかもありました。泣いた日や怒った日乗り越えながら練習してきました。佐藤先生からのアドバイスをパートリーダーの斎藤君がメモしてくれていたのが助かりました。みんなの心が一つになったことで、僕たちは銀賞を取ることができました。そしてまた今日はとても楽しかったし、達成感もある一日だったと思います。





「文化祭を終えて」 3年 崎谷 徳成くん

10月30日。今日は文化祭でした。特に印象に残ったのは僕たちが歌った「流浪の民」です。言葉の意味が難しく、強弱の激しい曲です。そんな難しい曲に僕たちはチャレンジしてみました。

1回目の練習でCDを聴いた時、はっきり言って不安でいっぱいでした。「ちゃんと歌えるかな?」「強弱を間違えずに歌えるかな?」と思いながらも練習を続けてきました。一週間もたてば歌詞は完璧に覚えました。しかし田中先生に「歌詞だけを覚えても、楽譜を覚えていなければ強弱やクレシェンド等が表現できない。」と言われ、楽譜を覚えることにしました。末森先生にも同じことを言われました。そして初めてみんなで合わせて練習をすることになりました。しかし、ハモリもできていないし、声が小さくてピアノにかき消されてしまったりと課題がたくさんありました。その中でも強弱がはっきりしていないのと、最後は10拍延ばさなければならぬのに少なかったりしていたのが大きな課題でした。

こうして練習を重ね、ついに本番がきました。舞台上立った時、心臓がドキドキして足がガタガタと震えました。でもそれに負けず、美しい声を会場に響かせました。そして合唱が終わり、結果発表です。結果は3年生の優勝でした。とってもうれしかったです。

最後の文化祭で優勝できて良かったと思います。銀賞だったのが残念でしたが、地域の方や先生方に「毎日の声」を送れたと思います。



☆山陽高校太鼓部「弾」鑑賞☆

「文化祭を終えて」 3年 藤本 裕介くん

今日1日で一番印象に残ったのは、山陽高校による「山陽太鼓“弾”」です。

初めて見たので新鮮で印象に残ったというのもあると思うけど、とにかく迫力がありました。すごく大きい太鼓から小さい太鼓までありました。とても大きい太鼓は、バチが他のと比べてとても太かったです。なので重いんだろうなと思いました。それとバチにはもう一種類ありました。それはもう、木製バットの小さい版のようでした。持ち方も2本持たず、両手で1本を持っていました。音の響きもやっぱり他の太鼓とは違っていました。座っていても体が揺れるのを感じたし、体育館の屋根や窓ガラスも揺れていました。

太鼓を叩いている人もすごかったです。見る前は、どうせ太鼓叩くって言っても、つまらないんだろうなと思っていました。ところが、いざ演奏を聴いてみると、とても驚きました。太鼓の音がすごいのはもちろん、太鼓を叩いている人たちが動いたり、掛け声を掛けながら叩いていたからです。普通、あんなに声を出し、太鼓を叩きながら動いていたら疲れていると思います。なのにその中で楽しそうに笑顔が見えました。それでも、「山陽太鼓“弾”」のとりこになってしまいました。とてもかっこよかったです。

僕も高校生になったら、一つの事を努力して、人を感動させられるような事をしたいと思います。

☆ふれあい講演会☆

元カーブの選手だった長谷部 稔氏が、貧しかったカーブ創設期の裏話を、映像も交えて講演して下さいました。年配の方々には募金された方もおられるのではないかと思います。懐かしいお話でした。優勝時代が青春だった少しだけ若い我々には、話には聞いていたけど、これほどとは……。カーブを手放してはいけないと思いました。また、全く知らない子どもたちは、純粋に「そんなに貧しかったのか。それなのに優勝までしたなんて。あきらめないでがんばることが大切なんだ」という感想を持ったようです。貴重なお話をありがとうございました。



☆3年生 各種の意見発表会参加☆

学校を飛び出し、広島市の他の学校の生徒や、阿戸町内の多くの人の中で自分の意見を発表するというのは大変緊張するものです。それにチャレンジした(する)3年生4名です。

- 11/5 安芸地区中学・高校 なくそう犯罪意見発表大会 不藤 一秀くん
- 11/5 安芸区青少年健全育成大会 坂口 美樹さん
- 11/20 阿戸町民まつり中学生意見発表 本田 享也くん・行武しおりさん

お知らせ

☆社会科 出前授業☆

- 日時 11月25日(金) 11:45~12:35
- 内容 製品事故に関する内容
- 講師 製品評価技術基盤機構中国支所長 河野秀明様

*3年社会科授業の一環として行います。興味のある方はぜひ参観して下さい。地域の方も大歓迎です。

☆阿戸小中学校公開研究会☆

- 日時 12月9日(金)
 - 授業参観 13:30~14:20 1年 国語
 - 実践発表 15:50~16:20 小中連携の取り組みの報告
- *小学校5年生の図工の授業を山口先生がされます。いずれも参観自由です。

文化祭前に
紺の背広の上着が
体育館に忘れられて
いました。
ご一報を!

